

製品名: MCM2 (6N7) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe13718**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:20-1:100,ICC/IF 1:20-1:50,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	102kDa

抗原情報

遺伝子名	MCM2
別名	BM28; CCNL1; cdc19; CDCL1; Cyclin like 1; MCM2;
遺伝子 ID	4171.0
SwissProt ID	P49736
免疫原	ヒト MCM2 の合成ペプチド

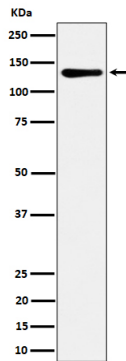
背景

真核細胞における「細胞周期に1回」のDNA複製の開始と伸長に必須であると考えられる複製ヘリカーゼであるMCM2-7複合体（MCM複合体）の構成要素として機能します。真核細胞における「細胞周期に1回」のDNA複製の開始と伸長に必須であると考えられる複製ヘリカーゼであるMCM2-7複合体（MCM複合体）の構成要素として機能します。MCM2-7リングの活性ATPase部位は、2つの隣接するサブユニットの相互作用面を介して形成され、保存されたアルギニンフィンガーモチーフの重要な構造が、隣接サブユニットのウォーカーAボックスのATP結合部位に対してトランスに提供されます。ただし、6つのATPase活性部位は、複合体ヘリカーゼ活性に異なる寄与をされると考えられます。S期への移行と細胞分裂に必要です。蝸牛の終末分化した有毛細胞の発達に役割を果たし、細胞のアポトーシスを誘導します。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の MCM2 発現のウェスタンブロット分析。